○　大口径結合金具

１　概要・用途

大口径（J-ストーズ）結合金具は、大規模火災時における大口径消防ホースの安全かつ確実な結合を目的として、一般社団法人日本消防放水器具工業会が開発した結合金具です。

阪神・淡路大震災や出光苫小牧タンク火災などの大規模災害を契機として、大量送水システムの必要性が高まり、大口径消防ホースを迅速かつ確実に接続できる結合金具の研究・開発が進められました。

工業会では、専門委員会を設置し、大口径消防ホースに対応した安全で確実な結合方式の検討を重ね、「J-ストーズ結合金具」を開発しました。本金具は、大口径送水ラインの構築において、消防ホースを迅速かつ確実に結合することを目的とし、大規模災害や特殊災害における大量送水活動を支える重要な消防資機材として活用されています。

２　呼称・種類

差込式、ねじ式（大量送水用又は大容量泡放水砲用）

３００、２５０、２００、１５０、１２５、１００

注　工業会会員の取り扱い製品の呼称

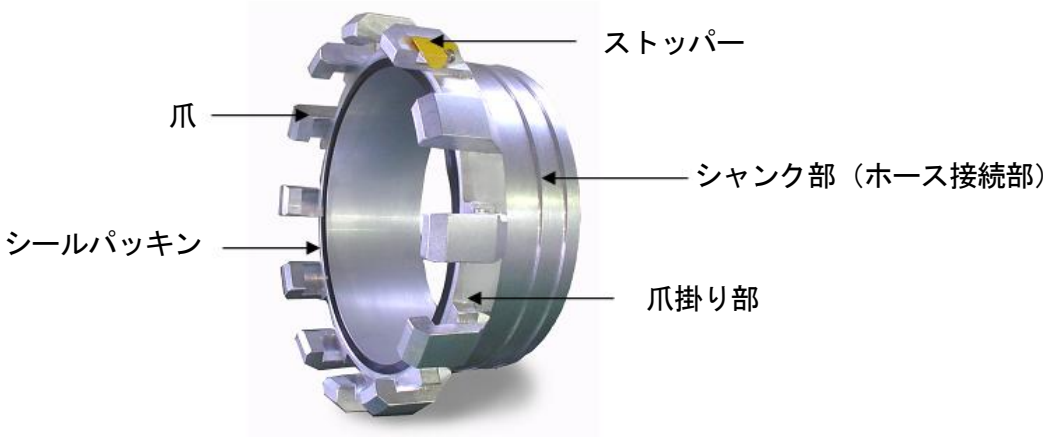
３　構造、結合・離脱方法

J-ストーズ結合金具は、耐食アルミ合金製の一体構造を採用しており、大口径ホースの結合に適した軽量かつ高強度な構造となっている。

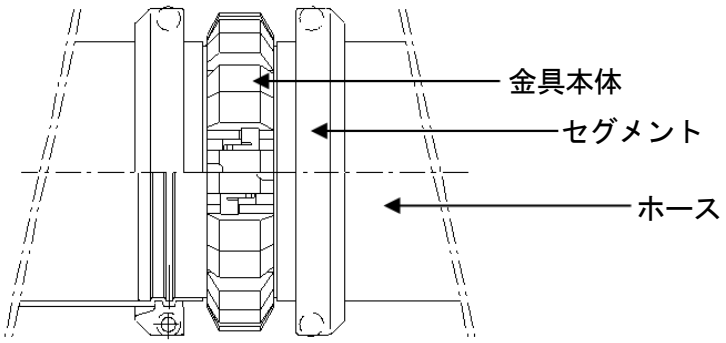
J-ストーズの動画（https://www.jfe.or.jp/movie/info.mp4）

二次元コードからもご覧いただけます

○　主な構成部品



○　ホースに取り付けた状態



○　結合方法

①　接続する金具同士の爪が噛み合うように差し込む。

②　金具を押し付けながら、指定された 2 か所に専用工具又を差し込む。

③　専用工具をひねると爪が噛み合い、ストッパーが「カチッ」と作動して結合が完了する。

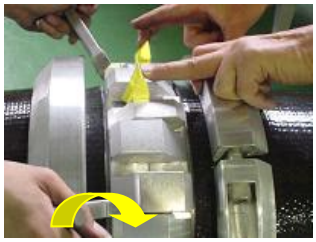
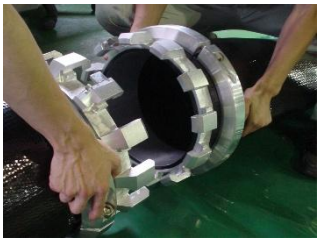




○　離脱方法

①　ストッパーを持ち上げて解除する。

②　結合時とは反対側の隙間に専用工具を差し込み、ひねることで離脱する。

4　注意点

・　爪が確実に噛み合い、ストッパーが作動したことを確認してから使用する。
・　結合・離脱は指定箇所に専用工具を使用し、無理な力を加えない。
・　指や手を爪部やストッパー付近に挟まないよう注意する。
・　重量があるため、落下や挟まれ事故に注意して取り扱う。
・　シールパッキンや爪部に損傷がある場合は使用しない。

５　維持管理方法

- 使用前後にシールパッキンの摩耗・亀裂・変形を確認する。
- 爪部に変形、摩耗、異物の付着がないことを確認する。
- ストッパーが確実にロック・解除できることを確認する。
- 使用後は泥や砂などの異物を除去し、十分乾燥させて保管する。

参考　他製品



